

「いわて青少年育成プラン(2020～2024)」に係る指標の達成度(令和2年度実績)

資料1-1

判定	項目数	割合
高(達成度100%以上)	25	28.1%
中(達成度80～100%)	31	34.8%
低(達成度80%未満)	11	12.4%
-(測定不能)	22	24.7%
合計	89	100.0%

重点目標	中項目	小項目	指標名	単位	青少年プラン基準値(2018)	実績 2020	目標値			判定	R2実績に対する担当課評価と今後の対応	
							2020	2021	2022			
1 個性や主体性を発揮して自立した活動ができる環境づくり	(1)「豊かな人間性と社会性」と「健やかな体」の育成	ア 親子の触れ合いの充実	自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%							実績値は測定できなかったが、道徳教育及び人権教育の充実に向けた研究の推進及び教員研修の開催に引き続き取り組む。	
			(小学生)		82.3	-	83.5	84.0	85.0	-		
			(中学生)		76.9	-	78.0	79.0	80.0	-		
		イ 道徳教育の充実	自他の良さを認め合う学級であると感じている児童生徒の割合	%								高校の実績値は測定できなかったが、道徳教育の充実を図るため、実践研究の推進や教員研修の開催に引き続き取り組む。
			(小学生)		85.0	86.0	89.0	91.0	94.0	中		
			(中学生)		88.0	88.0	91.0	92.0	93.0	中		
		(高校生)	77.0	-	79.0	80.0	81.0	-				
			ウ 環境学習の充実	環境学習交流センター利用者数	人	45,010	30,511	42,000	42,000	42,000	低	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大幅に減少したことから、令和3年度はオンラインの活用等により、利用者数の増加を図る。
		エ 食育の推進	食育普及キャラバン参加者数【累計】	人	275	-	520	780	1,040	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、キャラバンを中止したことから実績値は測定できなかった。令和3年度は実施方法を工夫しながら新型コロナウイルス感染症の状況に対応した形で実施する予定である。	
												オ 体育・スポーツの充実

重点目標	中項目	小項目	指標名	単位	青少年プラン基準値(2018)	実績 2020	目標値			判定	R2実績に対する担当課評価と今後の対応									
							2020	2021	2022											
			「定期健康診断」の肥満度が正常である児童生徒の割合	%		86.7	89.0	90.0	91.0	中	適切な食習慣、生活習慣の取組を望ましい生活習慣と一体的に関連づけながら効果的に推進できなかった。今後、「よりよい運動習慣形成」「望ましい食習慣の形成」「規則正しい生活習慣形成」について一体的な取組を推進する。									
			(小学生)									88.1								
			(中学生)									86.2								
		キ 読書活動の推進	読書がとても楽しいと感じる児童生徒の割合	%									各学校種において、「とても楽しい」「楽しい」を合わせた肯定的回答はいずれも85%以上と全国比でも非常に高い数値であり、今後も各種研修会の内容の改善や更新を図り、読書活動に関する情報の周知を継続し、読書に親しむ環境の構築と、読書を楽しむ素地を育成していくことで目標値の達成を目指す。							
														(小学生)	45.0	46.0	47.0	48.0	50.0	中
														(中学生)	42.0	40.0	46.0	48.0	51.0	中
														(高校生)	38.0	39.0	44.0	48.0	52.0	中
		ク 文化芸術活動の推進	子どものための芸術家派遣事業公演数【累計】	件	89	115	131	198	266	中		新型コロナウイルス感染症の影響による公演中止が相次ぎ、目標値を下回った。今後は感染症対策を講じながら鑑賞機会の確保に取り組む。								
		(2)「生涯を通じて学び続ける力」の育成	ア 総合的な生涯学習の推進	生涯学習情報提供システム利用件数	件	76,043	-	79,000	86,000	93,000		-	令和2年度途中の県のネットワークシステムの変更により、利用件数を計測できない期間などがあったため、実績値を測定できなかった。引き続き、学習情報等内容の充実を図るとともに、スマートフォンやタブレット端末からのアクセスを可能とするためのページ構成の刷新や、SNSを活用した情報提供に努め、利用件数の増加を図りたい。							

重点目標	中項目	小項目	指標名	単位	青少年プラン基準値(2018)	実績 2020	目標値			判定	R2実績に対する担当課評価と今後の対応	
							2020	2021	2022			
		ウ 個性を伸ばし主体的に学ぶ力を育てる教育の推進	地域や産業界等と連携し魅力ある学校づくりに取り組んでいる高校の割合	%	86	91	100	100	100	中	高校魅力化の取組を強化するため、「いわての高校魅力化ブランドデザインfor 2031」を策定したところであり、各高校が地域や産業界等の関係機関と連携しながら特色ある教育課程を実施し、魅力ある学校づくりに引き続き取り組む。	
			私立高等学校における特色ある教育活動の実施率	%		60.7	76.9	79.5	82.0	低	私立学校における特色ある教育活動の実施率は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業が実施できなかった。今後も、建学の精神などに基づいた特色ある教育活動を実施している私立学校に対する期待が高まっていることから、それらの教育活動の充実に向けた支援に引き続き取り組む。	
			自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたことがある児童生徒の割合	%								
			(小学生)		53.6	-	56.5	58.0	60.0	-		
			(中学生)		47.5	-	53.5	56.0	59.0	-		
			(高校生)		53.3	-	58.5	61.0	64.0	-		
		エ 魅力ある社会教育の推進	社会教育指導員・地域づくり関係者の資質向上を図る研修会の受講者数	人	73	121	103	113	123	高	動画配信によるオンデマンド研修の実施等、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策をとることで、目標を上回る121人の受講があった。引き続き、プログラムの充実とICTの効果的な活用に努め、受講者の増加を図りたい。	
(3)「社会への旅立ち」の支援	ア 職業能力・意欲の習得	将来希望する職業(仕事)について考えている高校2年生の割合	%	55	-	59	61	65	-	新型コロナウイルス感染症の影響により、県意識調査を中止したため、実績値は測定できなかった。今後もキャリア教育の推進に取り組む。		

重点目標	中項目	小項目	指標名	単位	青少年プラン基準値(2018)	実績 2020	目標値			判定	R2実績に対する担当課評価と今後の対応
							2020	2021	2022		
1 個性や主体性を発揮して自立した活動ができる環境づくり	(4)「社会参画」の機会の拡大	イ 就労等支援の充実	地域ものづくりネットワーク等と連携した工場見学への参加高校生数	人	1,659	1,572	1,900	1,900	1,900	中	コロナ禍においても、実施方法を工夫しながら工場見学を開催することができた。引き続き「地域ものづくりネットワーク」等と連携し、小中高生から既就業者までの各段階におけるものづくり産業人材の育成に取り組む。
			3次元設計開発技術を習得した高校生数【累計】	人	55	202	135	210	290	高	高度技術者・技能者を育成するため、引き続き「いわてデジタル育成センター」事業により、三次元設計開発技術者の育成に取り組む。
			高校生の県内企業の認知割合	%	-	-	83.6	91.8	100.0	-	県内企業の認知度向上に向けて継続して、県内企業を知る取組を行っていく。
			高卒者3年以内の離職率	%	-	33.5	36.4	35.6	35.0	高	全国と比較し低い数値であるものの継続して離職防止に努めていく。
			高卒者の正社員求人割合	%	95.9	-	96.0	96.3	96.6	-	企業への要請等、継続して正社員雇用増に向けた取組を行っていく。
			正社員就職・正社員転換数【累計】	人	11,767	19,944	26,400	39,600	52,800	低	企業への要請等、継続して正社員雇用増に向けた取組を行っていく。
	ア ボランティア活動、地域活動等の促進	青少年ボランティア活動者数【累計】	人	523	893	1,000	1,500	2,000	中	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動の機会が制限された。ボランティアの機会を分散して少人数で活動するなどの対策を講じていく。	
		「わたしの主張」応募総数【累計】	人	3,987	7,922	8,400	12,600	16,800	中	生徒数の減少もあり、応募総数が伸び悩んだ。教育委員会とも連携し、取組の周知・拡大を図っていく。	

重点目標	中項目	小項目	指標名	単位	青少年プラン基準値(2018)	実績 2020	目標値			判定	R2実績に対する担当課評価と今後の対応								
							2020	2021	2022										
	ウ 男女共同参画の普及、啓発	デートDV出前講座受講者数【累計】	人	2,634	5,165	7,000	10,500	14,000	低	新型コロナウイルス感染症の影響により、出前講座の申込数が低調であった。今後はオンライン等の方法を併用した開催方法を周知し、申込数を確保する。									
											学校における男女混合名簿使用率	%	39.0	87.4	65.0	85.0	100.0	高	今後も教育事務所・市町村教育委員会と連携し、使用開始を働きかける。
		(高校生)	81.0	100.0	100.0	100.0	100.0												
		エ 消費者教育等の充実	社会の動きや出来事に関するニュースに関心がある児童生徒の割合	%	82	91	84	85	86	高	高校の実績値は測定できなかったが、関係機関と連携し、地域課題の学習等を通じた主権者教育を進めるとともに、消費者教育の充実に引き続き取り組む。								
												(小学生)	75	93	81	84	87		
	(高校生)											72	-	80	85	90			
	(5)困難を抱える子供・若者とその家族への支援	ア ニートやひきこもりなど困難を抱える子供・若者への対応	若年無業者等「交流・活動支援（ステップアップ）参加者数【累計】	人	625	992	1,160	1,740	2,320	中	新型コロナウイルス感染症の影響により活動休止期間があり、また参加者が低調であった。今後は感染防止対策をしながら支援の機会を確保する。								
												イ 学校不適應への対応	いじめはいけないと思う児童生徒の割合	%	89.1	-	94.5	97.2	100.0
		学校が楽しいと思う（学校に満足している）児童生徒の割合	%	88.0	87.0	90.0	90.0	91.0	中	高校の実績値は測定できなかったが、魅力ある学校づくりを推進するとともに、教育相談の充実に取り組む。									
											(小学生)	88.0	86.0	90.0	90.0	91.0			
		(中学生)	87.0	-	89.0	89.0	90.0												
ウ 障がいのある青少年への対応		特別支援教育サポーター登録者数	人	273	316	320	350	380	中	感染症対策を徹底しながらサポーター養成講座を実施し、登録者数の増加を目指す。									
											エ 社会復帰への支援と温かく見守る環境づくり	犯罪被害者等に係る理解促進のための講演会等の参加者数【累計】	人	7,534	8,600	12,900	17,200	中	新型コロナウイルス感染症の影響により講演会等の開催が減少した。今後はオンライン開催も含めて取り組む。

重点目標	中項目	小項目	指標名	単位	青少年プラン基準値(2018)	実績 2020	目標値			判定	R2実績に対する担当課評価と今後の対応
							2020	2021	2022		
			はまなすサポートホームページアクセス数	回	-	2,584	2,100	2,100	2,100	高	目標数値は達成したものの、性犯罪等被害者支援の県民理解のより一層の醸成のため、引き続き取組を推進する。
2 愛着が持てる地域づくり	(1) 地域ぐるみの「子育て」支援	ア 子育て支援ネットワークづくり	すこやかメールマガジン登録人数	人	1,141	3,043	3,000	4,000	5,000	高	チラシやSNS等を活用し、広く周知することで、目標を達成することができた。今後も、積極的な周知に努めながら、登録者の増加を図りたい。
			放課後児童クラブ設置数	箇所	385	417	419	437	456	中	共働き家庭等の子どもが増大する中、安心して子どもを産み育てられるよう、子どもの受入先である放課後児童クラブを確保することが必要であることから、地域の利用ニーズ等に基づいて市町村が計画的に実施する施設整備を引き続き支援する。
		イ 親育ちの支援	子育てサポートセンターにおける子育て支援研修等参加者数【累計】	人	372	457	800	1,200	1,600	低	新型コロナウイルス感染症の影響により目標に届かなかったが、開催時期の調整やオンラインでの開催も含め受講機会の確保に取り組む。
		子育てサポーターを対象とした家庭教育支援に関する研修会参加者数	人	482	579	550	575	600	高	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努め、受講者が安心して参加できるよう配慮することで、多くの参加者を得ることができた。今後も研修会の内容の充実にも努め、参加者の増加を図りたい。	
		子ども・若者支援セミナー受講者数【累計】	人	182	337	400	600	800	中	新型コロナウイルス感染防止対策の観点から受講者制限・オンライン配信を行った。今後も、オンラインを併用しながら支援者の知識習得を図っていく。	

重点目標	中項目	小項目	指標名	単位	青少年プラン基準値(2018)	実績 2020	目標値			判定	R2実績に対する担当課評価と今後の対応	
							2020	2021	2022			
		ウ 地域の教育力の充実	コミュニティスクール設置市町村数	市町村	6	11	11	25	33	中	訪問支援等による説明や導入支援等により理解が進み、設置市町村が増加した。今後も、未設置市町村に対して、導入事例等を紹介するなどして設置促進を図っていく。	
			教育振興運動として計画的に取り組まれている地域活動件数	件	4,224	3,411	4,684	4,914	5,144	低	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じつつ、各実践区において工夫された活動が行われたが、対人的な活動が主となる本運動の活動の性質上、件数は減少した。活動の本質を保ちながら工夫した活動例を広く周知し、活動内容や方法のバリエーションを増やすことで、活動件数の増加を図りたい。	
			社会教育指導員・地域づくり関係者の資質向上を図る研修会の受講者数	人	73	121	103	113	123	高	動画配信によるオンデマンド研修の実施等、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策をとることで、目標を上回る121人の受講があった。引き続き、プログラムの充実とICTの効果的な活用に努め、受講者の増加を図りたい。	
			地域協働の仕組みにより保護者や地域住民が学校の教育活動にボランティアとして参加している学校の割合	%								地域協働の意義や仕組の理解が進み、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じつつ、各学校において工夫された活動が行われ、目標値を大きく上回る結果となった。今後も地域と学校の連携の充実につながる周知、研修の促進を図っていく。
			(小学生)		-	100.0	82.0	83.0	84.0	高		
		(中学生)		-	92.7	64.2	65.6	67.0	高			

重点目標	中項目	小項目	指標名	単位	青少年プラン基準値(2018)	実績 2020	目標値			判定	R2実績に対する担当課評価と今後の対応
							2020	2021	2022		
	(2)「ふるさと」を知り「地域」を体験する活動の支援	ア まつりや地域活動への参加促進	自分の住んでいる地域が好きだと思っている児童生徒の割合	%						高 中 -	新型コロナウイルス感染症の影響により、各学校で行う行事の延期や中止など、予定していた取組が十分に実施できなかったことから、中学生の判定は中となった。また、県意識調査を中止したため、高校生の実績値は測定できなかった。今後も地域の良さの認識に向けての取組を推進する。
			(小学生)	66.0	71.0	70.0	72.0	74.0			
			(中学生)	52.0	52.0	56.0	58.0	60.0			
			(高校生)	51.0	-	54.0	58.0	62.0			
		ウ 豊かな体験学習の充実	県立社会教育施設で「岩手」をテーマとした講座の受講者数	人	-	623	1,050	1,150	1,250	低	コロナ禍の影響により多くの講座を中止したほか、受講者数を制限して開催したため、目標値に届かなかった。県民の強度に対する誇りや愛着を醸成するため、岩手ならではの講座をより充実させ、コロナ収束後のV字回復を目指す。
			放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合	%	25.7	67.0	60.0	80.0	100.0	高	放課後子ども総合プラン指導者合同研修会等により理解が進み、各教室において充実した体験学習が実施された。今後も、指導者等に対して活動事例等を紹介するなどして活動の充実と実施数の増加を図っていく。
(3)「世代間・地域間」等の多様な交流の促進	ウ 国際理解・国際協力の推進	海外派遣人数及び相互交流受入人数【累計】	人	33	-	88	132	176	-	新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により事業を中止したことから、実績値は測定できなかった。	
		いわてグローバル人材育成推進協議会の支援制度を利用して海外留学した学生数【累計】	人	5	-	10	15	20	-	新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により事業を中止したことから、実績値は測定できなかった。	
2 愛着が持てる地域づくり	(4)ワークライフバランスの推進	ア ワークライフバランスの推進	いわて子育てにやさしい企業等認証の認証数	事業者	113	220	215	265	315	高	企業訪問等により登録企業の拡大に取り組んだ。引き続き、企業訪問のほか、HPや県広報当による情報発信により、認証企業数の拡大を図る。

重点目標	中項目	小項目	指標名	単位	青少年プラン基準値(2018)	実績 2020	目標値			判定	R2実績に対する担当課評価と今後の対応
							2020	2021	2022		
			いわて働き方改革推進運動参加事業者数	事業者	217	544	600	800	1,000	中	目標には届かなかったが、業界団体への働きかけ等により、参加事業者はR1末(319社)から200社以上増加した。県内企業における働き方改革の推進に向けて継続して、意識啓発や優良事例の普及等に取り組んでいく。
			「いわて子育て応援の店」協賛店舗数	店舗	1,933	2,150	2,118	2,209	2,300	高	企業への働きかけにより、協賛店舗数の拡大に取り組んだ。引き続き、協賛店登録が子育て世帯へのアピールポイントになることを積極的に周知し、登録を促進する。
	(5)「青少年団体活動」の支援	イ 青少年活動交流センターの充実	青少年活動交流センター利用者数	人	23,150	11,713	23,000	23,000	23,000	低	新型コロナウイルス感染防止対策の観点から利用制限を行ったため、大幅な減少となった。今後は、配信や分散開催などの感染防止対策を講じて利用者を確保する。
3 青少年を事件・事故から守る環境づくり	(1)「青少年の居場所づくり」の推進	ア 相談体制の整備	悩み相談ができる学校以外の相談窓口を知っている児童生徒の割合	%							高校の実績値は測定できなかったが、相談窓口を紹介するカードの配付とともに、SOSの出し方受け止め方に関する教育を充実させながら、相談窓口の周知に取り組む。
			(小学生)		75	88	100	100	100	中	
			(中学生)		48	95	100	100	100	中	
		(高校生)	81	-	100	100	100	-			
		イ 自由に集える居場所づくり	子ども食堂など子供の居場所づくりに取り組む市町村数	市町村	11	21	24	29	33	中	運営団体の撤退や新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下回ったが、新たに5市町村において設置が進み、子どもの居場所の設置箇所数も増加していることから、開設・運営に係る支援や未実施市町村への働きかけの強化に取り組む。

重点目標	中項目	小項目	指標名	単位	青少年プラン基準値(2018)	実績 2020	目標値			判定	R2実績に対する担当課評価と今後の対応
							2020	2021	2022		
	(2)「安全・安心」な地域社会づくりの推進	イ 見守り活動の推進	青少年を非行・被害から守る県民大会参加者数【累計】	人	499	631	900	1,350	1,800	低	新型コロナウイルス感染防止対策の観点から入場制限、オンライン配信を行った。今後もオンラインを併用しながら、希望者には資料送付の方法により青少年を非行・被害から守る意識の醸成に務める。
			地域住民による見守り活動が行われている学校の割合	%	-	82.3	79.0	80.0	81.0	高	目標値は達成したものの、登下校時の交通事故や事件から児童生徒を守るため、より一層の取組を推進する。
	ウ 児童虐待の防止	児童福祉司1人当たりケース数	ケース	55.1	42.4	45.9	43.0	40.0	高	年度の目標値は達成したものの、引き続き、児童相談所の体制強化を推進する。	
		エ 交通安全の充実	交通事故死傷者数	人		1,999	2,140	2,000	1,860	高	目標数値は達成したものの、青少年の交通事故防止のため、継続した広報による交通安全意識の高揚を図るほか、県民運動を展開する。
	オ 被害者支援の充実	犯罪被害者等に係る理解促進のための講演会等の参加者数【累計】【再掲】	人	4,279	7,534	8,600	12,900	17,200	中	新型コロナウイルス感染症の影響により講演会等の開催が減少した。今後はオンライン開催も含めて取り組む。	
			はまなすサポートホームページアクセス数【再掲】	回	-	2,584	2,100	2,100	2,100	高	目標数値は達成したものの、性犯罪等被害者支援の県民理解のより一層の醸成のため、引き続き取組を推進する。
	(3)「非行防止活動」の推進	ア 非行防止活動の充実	少年人口1,000人当たりにおける刑法犯少年の数	人	1.61	1.15	1.60	1.60	1.59	高	目標数値を大幅に達成したものの、刑法犯少年全体に占める触法少年の割合が高い傾向にある。今後も学校と連携した非行防止教室等、小学生・中学生に対する広報、啓発を強化する。

重点目標	中項目	小項目	指標名	単位	青少年プラン基準値(2018)	実績 2020	目標値			判定	R2実績に対する担当課評価と今後の対応	
							2020	2021	2022			
			少年が主たる被害者となる刑法犯認知件数の割合	%	11.3	11.1	11.3	11.3	11.3	高	目標数値を達成した。今後も学校やボランティアと連携した犯罪被害防止活動など、少年の犯罪被害防止に向けた広報、啓発を推進する。	
		ウ 薬物乱用防止活動の推進	喫煙飲酒の指導を含めた「薬物乱用防止教室」を開催している小学校の割合	%	812.0	85.1	100.0	100.0	100.0	中	新型コロナウイルス感染症の影響により、複数の学年（学級）が一斉に集まって行う形での開催、学校薬剤師等の外部講師を招いての開催を見送ったことにより、開催した学校の割合が低くなった。開催方法の工夫や内容の検討を行い、小学校への周知を図っていく。	
	(4) 子供・若者を取り巻く優雅環境等への対応	イ インターネット・スマートフォン等への対応	青少年指導者向け情報メディア対応能力養成講座受講者数【累計】	人	127	224	340	510	680	低	予定していた4地区のうち、新型コロナウイルス感染症の影響により中止や人数制限、オンライン配信をした地区があった。今後もオンラインを併用するなど感染防止対策を講じながら取り組む。	
ルールを守って情報機器（スマートフォン等）を利用することが大切だと思う児童生徒の割合			%									高校生の実績は測定できなかったが、情報モラルに係る研修や情報モラル教育の効果的な実践事例の情報共有と周知に取り組む。
(小学生)				89	90	94	97	100	中			
(中学生)		85	87	93	96	100	中					
(高校生)		83	-	91	96	100	-					
4 若者が活躍できる環境づくり	(1) 若者間のネットワーク構築の促進	ア 若者間の交流とネットワークづくりの促進	いわて若者交流ポータルサイト登録団体数【累計】	団体	63	95	79	85	91	高	年度の目標値は達成したものの、引き続き県内で活躍する若者団体の掘り起こしを行っていく。	
		イ 若者の情報発信などによる活動参画の促進	いわて若者交流ポータルサイトアクセス数	回	36,292	56,406	41,000	41,000	41,000	高	年度の目標値は達成したものの、引き続き県内で活躍する若者の活動内容を発信していく。	

重点目標	中項目	小項目	指標名	単位	青少年プラン基準値(2018)	実績 2020	目標値			判定	R2実績に対する担当課評価と今後の対応
							2020	2021	2022		
	(2)若者の活躍を支援する仕組の充実	ア 若者自らが実施する復興や地域づくり等の取組の支援	いわて若者会議参加者数【累計】	人	230	378	400	600	800	中	新型コロナウイルス感染防止対策の観点から入場制限・オンライン配信を行った。今後も、オンラインを併用しながら、若者同士の交流やネットワーク形成を促進していく。
			若者文化祭等の若者関連文化イベント来場者数【累計】	人	7,755	7,264	13,000	18,500	24,000	低	新型コロナウイルス感染防止対策の観点から入場制限・オンライン配信を行った。今後も、オンラインを併用しながら、若者同士の交流やネットワーク形成を促進していく。
		イ 高等教育機関と連携した地域づくり・人づくりの支援	高大連携講座への参加者数【累計】	人	912	-	1,010	1,060	1,110	-	新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止したため、実績値は測定できなかった。

いわて青少年育成プラン(2020~2024) 参考指標

重点目標	中項目	小項目	指標名	単位	青少年プラン基準値(2018)	実績2020	担当課	
1 個性や主体性を発揮して自立した活動ができる環境づくり	(3) 若者の職業的自立、就労等支援	ア 職業能力・意欲の習得	(建設業における)若者、女性の活躍推進、経営力強化を目的とする講習会の受講者数【累計】	人	963	2300	建設技術振興課	
		イ 就労等支援の充実		「いわてアグリフロンティアスクール」の修了生数【累計】	人	425	455	農業振興課
				「いわて林業アカデミー」の修了生数【累計】	人	33	65	森林整備課
				「いわて水産アカデミー」の修了生数【累計】	人	-	13	水産振興課
				ICTセミナー受講者数【累計】	人	277	518	科学・情報政策室
				離職者を対象とした職業訓練の受講者の就職率	%	77.1	75.3	定住推進・雇用労働室
				障がい者委託訓練の受講者の就職率	%	86.7	65.2	定住推進・雇用労働室
	(4) 社会参画の機会の拡大	イ 青少年の声を反映する機会の拡大	いわて希望塾参加者数【累計】	人	129	130	若者女性協働推進室	
			「わたしの主張」大会発表者数【累計】	人	177	361	若者女性協働推進室	
		エ 消費者教育等の充実	消費者教育関連セミナー受講者数【累計】	人	-	10,955	県民くらしの安全課	
	(5) 困難を抱える青少年とその家族への支援	ア ニートやひきこもりなど困難を抱える子ども・若者への対応	ニート等の自立に関する相談件数【累計】	件	4,212	8,145	若者女性協働推進室	
			自殺者数(10万人当たり)	人	20.5	21.2	障がい保健福祉課	
		イ 学校不適應への対応	不登校児童生徒数	人	1,595	1,888	学校調整課	
			いじめの校種別認知件数	件	7,694	8,146	学校調整課	
	(1) 地域ぐるみの子育て支援	イ 親育ちの支援	いわて親子家庭フォーラム参加者数【累計】	人	5,790	9,497	若者女性協働推進室	
			家庭の教育力が低下していると思う保護者の割合	%	61.0	-	若者女性協働推進室	
		(2) 「ふるさと」を知り、	ア まつりや行事、地域活動への参加促進	町内会などの地域活動に参加したことのある青年の割合	%	20.5	-	若者女性協働推進室

2 愛着が持てる地域づくり	「地域」を体験する活動の支援	ウ 豊かな体験学習の充実	景観学習実施回数	回	14	9	都市計画課
	(3)「世代間・地域間」等の多様な交流の促進	イ 交流体験活動の充実	いわて希望塾参加者数【累計】【再掲】	人	129	130	若者女性協働推進室
			グローバルキャリアフェアの参加者数【累計】	人	49	74	国際室
	(4)ワーク・ライフ・バランスの推進	ア ワークライフバランスの推進	総労働時間（年間）	時間	1,840.8	1,778.4	定住推進・雇用労働室
			年次有給休暇の取得率	%	-	56.1	定住推進・雇用労働室
			共働き世帯の男性の家事時間割合（週平均）	%	40.7	36.5	若者女性協働推進室
(5)「青少年団体活動」の支援	ア リーダー・指導者育成	いわて希望塾参加者数【累計】【再掲】	人	129	130	若者女性協働推進室	
3 青少年を事件・事故から守る環境づくり	(3)非行防止活動の推進	ア 非行防止活動の推進	少年（20歳未満）の再犯者率	%	33	20.5	警察、県民くらしの安全課
4 若者が活躍できる環境づくり	(2)若者の活躍を支援する仕組の充実	ウ 若者の起業支援	商工指導団体による創業指導回数	回	-	513	経営支援課
			いわて起業家育成資金の貸付件数	件	-	82	経営支援課